

送水タンク WT-603

【形状・構造及び原理等】

<形状>

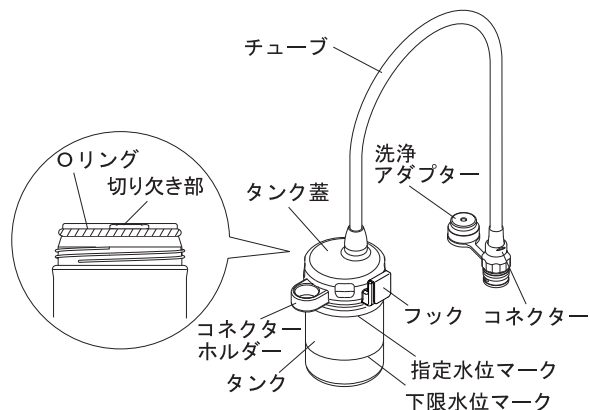


図1

1. 仕様

| 項目 | 諸元 |
|---------------------------|---------|
| 全長 | 630mm |
| タンク外径(フック、コネクターホルダーは含まない) | 69 mm |
| 容量 | 約 230ml |

2. 動作環境

温度: +10~+40℃

湿度: 30~85%RH (結露状態を除く)

気圧: 70~106kPa (大気圧範囲)

<構造・構成ユニット>

1. 体に接触する部分の組成

タンク : ポリサルホン

* タンク蓋 : ステンレス鋼、エポキシ樹脂

チューブ : シリコーンゴム

* コネクター : ステンレス鋼、エポキシ樹脂、シリコーンゴム

<作動・動作原理>

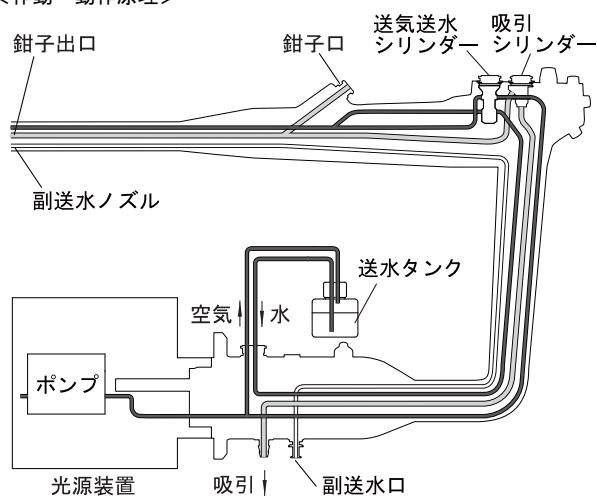


図2

本製品は、内視鏡に接続されることで、内視鏡の送気送水管路の一部を構成する。(図2参照)

内視鏡の送気送水管路は常にポンプにより空気が供給されており、内視鏡の送気送水ボタンを押し込むことで、ポンプから供給された空気が送水タンクに流れ込む。流れ込んだ空気により送水タンク内の水が押し出されることで、水が内視鏡の管路内を流れ、内視鏡の先端から吹き出す。

【使用目的又は効果】

本製品は、内視鏡用の送水装置等に接続する送水用の貯水タンクである。

【使用方法等】

<使用方法>

1. 送水タンクの外観やチューブに著しい変形等の異常がないことを確認する。
2. Oリングが指定の位置に取り付いていること、Oリングに切れやねじれのないことを確認する。
3. タンクの指定水位マークまで滅菌水を注ぐ。
4. タンク蓋を時計方向に回して、蓋をする。しっかりと止まるところまで締め付けること。
5. 送水タンクのフックを光源装置、プロセッサ、またはカートの送水タンクフックに掛ける。
6. 送水タンクのコネクターを内視鏡の送水コネクターに差し込み、送水タンクのコネクターの溝と内視鏡側のピンを合わせて、止まるところまで時計回りに回して固定すること。
7. 送水および送気されることを確認してから内視鏡検査を行う。
8. 検査終了後、光源装置、プロセッサの電源を切った状態にしてから、送水タンクのコネクターを反時計回りに回して、内視鏡の送水コネクターから引き抜く。
9. 送水タンクのコネクターをコネクターホルダーに取り付ける。
10. 送水タンクフックから送水タンクを外し、送水タンク内に残っている水を捨てる。
11. 洗浄した送水タンクを消毒または滅菌(オートクレーブ)する。

* <組み合わせで使用される医療機器>

本製品は以下の医療機器と組み合わせで使用する。

6000 システム

700 システム

<使用方法等に関連する使用上の注意>

* 1. 準備と点検

(1) 本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意すること。内視鏡手技を継続できない場合がある。

* 2. 洗浄・消毒・滅菌

- (1) 本製品は、あらかじめ滅菌が行われていない。使用するときには、用途に応じたレベルの洗浄、消毒または滅菌を行うこと。
- (2) 使用後には、本製品の取扱説明書の手順に従って洗浄、消毒または滅菌を行うこと。不十分な洗浄、消毒または滅菌は、感染の原因になる。
- (3) 皮膚の保護、感染防止のため、薬液洗浄および消毒の際には保護具を使用すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ36A

202B1321581A

1804-2.0-FFTP

3. 使用方法

- (1) 送水タンクの滅菌水は毎日交換すること。感染のおそれがある。
- (2) 蓋の開閉時は、フックの回転進路方向に手、指を添えないこと。フックにより手、指に切り傷を負うおそれがある。

4. 手入れ方法

- (1) 1 日の症例が終わるごとにただちに洗浄および消毒または滅菌を、本製品の取扱説明書の手順に従って十分に行うこと。洗浄および消毒または滅菌は、Oリングを外して行うこと。感染や、機器が破損するおそれがある。
- (2) 消毒を行うときは、十分に換気すること。浸漬槽のふたを閉めて浸漬すること。消毒液の蒸気は、人体に悪影響を与えるおそれがある。
- (3) 薬液浸漬後は、残留している薬液を滅菌水で洗い流すこと。消毒液が患者の体内に流れ込むおそれがある。
- (4) 滅菌は、洗浄アダプターを外して行うこと。感染のおそれがある。

5. 保管

- (1) 送水タンクは、乾燥してから保管すること。感染のおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

薬液消毒または滅菌した送水タンクを保管する。送水タンクを、下記の条件（温度、湿度、気圧）を満たす清潔な場所で保管すること。

1. 保管条件

- 温度：-20～+60℃
- 湿度：10～95%RH（結露状態を除く）
- 気圧：70～106kPa（大気圧範囲）

2. 保管上の注意

- (1) タンク蓋、Oリング、タンクを外して保管すること。
- (2) 塵埃の付着を防止するため、容器等に入れて保管すること。

<使用期間>

使用期間は適切な保守点検を行った場合、使用開始から 1 年間とする。

「自己認証（当社データ）による」

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検の詳細は、取扱説明書を参照すること。
2. 業者による保守点検の詳細は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡すること。

<使用者による保守点検事項>

| 点検項目 | 頻度 |
|--|-----|
| 送水タンクの外観やチューブに著しい変形がないことの確認 | 毎症例 |
| Oリングが指定の位置に取り付いていること、Oリングに切れやねじれのないことの確認 | 毎症例 |

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

富士フィルム株式会社
TEL：0120-771669

販売業者

富士フィルムメディカル株式会社
TEL：03-6419-8033

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ36A 202B1321581A
1804-2.0-FFTP